

特集 7

# 第2回皮膚科サマースクール2017 in Kobuchizawaを終えて

昨年に引き続き第2回皮膚科サマースクールが、7月16日(日)17日(月・祝)に山梨県小淵沢で開催されました。皮膚科サマースクールは、研修医や医学生に皮膚科学の幅広さや奥深さを伝えるとともに、皮膚科が楽しさややり甲斐に満ちた魅力ある診療科であることを伝えることを目的に企画されました。第2回となる今回も、皮膚のプロフェッショナルたちの熱い思いを次世代の若者に伝えるべく、島田眞路理事長、秀道広キヤリア支援委員会委員長、JDA事務局の方々の絶大なサポートのもと、八ヶ岳を望む大自然の中で開催されました。当日は、熱血講師\*1とチ

ューター\*2が小淵沢アートヴィレッジに全国から集結し、実行委員\*3とともにサマースクールを盛り上げてくれました。日常の診療や講義では伝えきれない熱い思いを形にしたレクチャーが次々と行われ、さらにダーモスコピーを使った実習、グループ対抗皮膚科クイズなどが行われました。豚皮膚を用いた皮膚外科のハンズオンでは、参加者全員がお揃いのJDA特製スクラブを着用して実施され、表皮縫合や真皮縫合から皮弁形成まで実習が進められました。また、皮膚科医



写真1 豚皮を用いた皮膚外科ハンズオンセミナー

1日目の夜は、会場の屋上でバーベキュー懇親会が開催されました。続いて宿泊施設で開かれた二次会も熱気と笑いにあふれ、夜遅くまで語り合う姿があちこちで見られました。

のキャリアパスや専門医制度、研究の面白さに関するレクチャーもあり、終始熱気に満ち溢れた2日間でした。全国各地から参加された49名の初期研修医と医学生の方たちは、笑いが溢れる和やかな雰囲気の中、皮膚科の様々な楽しさを存分に堪能してくれたものと思います。

\*1 講師…安部正敏、岸晶子、佐山浩二、田中勝、玉井克人、千貫祐子、常深祐一郎、中村泰大



執筆者  
奥山隆平  
皮膚科サマースクール2017実行委員長  
信州大学医学部皮膚科学教室教授

\*2 皮膚科チューター…浅井純、大沼毅紘、加藤裕史、佐



写真2 天気にも恵まれ全員で集合写真

\*3 実行委員…大山学、奥山隆平(委員長)、加藤則人、多田弥生、蓮沼直子、森田明理(敬称略、五十音順)